

地理的な見方・考え方を働かせ、地域的特色を多面的・多角的に考察する生徒の育成
—学びの視点を明確にした単元の学習計画・記録表(OPPシート)を活用して—

特別研修員 社会 新井 彰典 (中学校教諭)

目指す生徒像 「地理的な見方・考え方を働かせ、地域的特色を多面的・多角的に考察できる生徒」

OPPシートの活用

OPP(One Page Portfolio)シートとは？

→単元を通して学習したことを1枚のシートにまとめて、生徒の学習内容を積み重ねていくもの。

手立て1 生徒に学びの視点(今日のポイント)を明確にして示したOPPシートの活用。

今日考えることや資料の読み取りや考察の視点が分かったぞ。

授業実践 単元「中部地方」

第3時 東海の農業

「東海の農業には、どのような特色があるのだろう。」

【今日の授業で最も大切だと思ったこと】

温暖な気候で、高速道路などの交通網が整備され、大消費地とつながっているため発展しているんだな。

今日のポイント

- ・田原市で農業がさかんな理由を資料から見付けよう。
- ・自然環境や交通網と農業の関係を考えよう。
- ・今までに学習した地方との共通点や相違点を比べよう。

【感想や疑問】

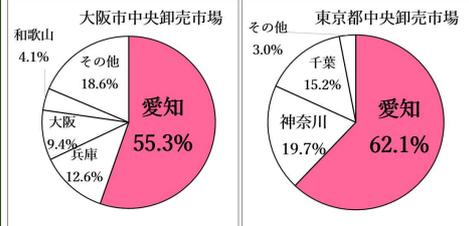
中央高地や北陸の農業も同じかな？

↑ OPPシートの1時間分の構成。今日のポイントを意識して資料の読み取りや地域的特色の考察、授業の振り返りをする。

本時の資料

市町村名	年平均気温	3月の平均	年間日照時間	年降水量
田原市 (愛知県)	16.5℃	8.8℃	2279 時間	1645 mm
上越市 (新潟県)	13.6℃	5.4℃	1592 時間	2755 mm
松本市 (長野県)	11.8℃	3.9℃	2098 時間	1031 mm

資料 市場で取引されたキャベツの産地(2020.03)



① 見通し

③ 考察

九州地方 OPP (既習)

宮崎県は温暖な気候を生かした促成栽培をしていたわ。愛知県の田原市も温暖ね。

愛知県産のキャベツは東京にも大阪にもたくさん出荷されているわ。愛知は、東京と大阪の間に位置するからかな？

高知県は交通網の発達により、全国に野菜を出荷していた。田原市の近くには東名高速があるぞ。

中国・四国地方 OPP (既習)

② 関連付け

手立て2 既習地域のOPPシートの記述や授業で提示された資料から分かる社会的事象を関連付けながら地域的特色を読み取らせる活動。

【生徒の実態】

「社会的事象を関連付けることが苦手」
「地理的な見方・考え方を働かせることが不十分」

【教師の願い】

「地理的な視点を明確にした授業をしたい」
「単元で何を学ぶのかという見通しをもたせたい」

成果 学びの視点(今日のポイント)を示したことで、見通しをもちながら資料を読んだり考察したりすることができた。また、単元のまとめでは、OPPシートに書いた振り返りをもとに、地域的特色をまとめることができた。

課題 学びの視点(今日のポイント)には、学習活動や資料の注目する観点など、さまざまなものを提示すると煩雑になってしまうので、考察のポイントのみに絞ることが必要である。